

20年目を迎える冬の風物詩「うれしのあったかまつり」。

陽が落ちると街に灯りがともされ、それはまるで宵の美術館のように人々の心を癒して来ました。

ランタンアーティスト三上真輝氏と多くの嬉野市民が共同で製作した

日本最大規模のランタン空間作品「なまずの寝床」が今年も嬉野市体育館内に出現します。

今年は新たに数種類のランタンと灯りの演出、ランタン空間内イベントなど

昨年と違った趣向で皆様をお迎え致します。



ランタン作家
三上 真輝

1954年青森県五所川原生まれ、福岡在住。現在も年間120万人もの観光客が訪れる五所川原の高さ20mもの「立ちねぶた」を80年ぶりに復活させた。太宰府天満宮、キャナルシティ、長崎空港などに作品が展示されるなど注目を集めている。



音楽クリエイター
Marc Farey

イギリス出身。サウンドデザイナーとしてロンドンBBC Radioにて10年以上勤めた後、独立。2015年に嬉野へ移住。ラジオ、テレビ、ゲームなどに楽曲を提供する。今回の会場音楽は白なまずの目覚めから就寝までの1日を表現している。

◆宵の美術館とは(将来図)

夜の帳が落ちると、嬉野の温泉郷全体が一瞬にして「宵の美術館」に姿を変える。今後、嬉野温泉全域を活用し、50カ所程度のアートパビリオンを常設する。その規模は世界最大であり、東京ドーム2,703個分に相当する。365日、太陽が沈み、次の太陽が昇るまでの間、世界最大規模の「美術館」がここ嬉野の地に出現(開館)する。

白なまずの伝説

嬉野の地で古くから竜宮城の乙姫・豊玉姫を祀る豊玉姫神社。白なまずはその遣いとして嬉野川を支配し、郷の守護神である。肌の病にご利益ありと云われ、また国に大難がある時に現れて神託を告げると語り継がれている。

◆ランタン空間内イベント

イベントの詳細につきましては、「宵の美術館」ホームページ等にてお知らせいたします。



あったかまつり20年の歴史において百灯華灯笼、百彩灯りなど様々な灯りが生まれてきました。原点である市民による手作りの灯りが温泉街一帯を優しく彩ります。

- | | | |
|---------------------|-------------------------------------|--------------------|
| ◆陶器灯笼
(豊玉姫神社入口) | ◆百彩灯り ^{ももいろあかり}
(豊玉姫神社) | ◆絵手紙灯笼
(温泉公園) |
| ◆百灯華灯笼
(商店街本通り他) | ◆華灯り
(湯宿広場) | ◆恋人たちの灯り
(新湯広場) |

その他たくさんの灯りで皆様をお待ちしています。



温泉

あったかまつり期間中、協賛旅館・ホテルで
ご利用頂ける割引券を一枚百円で販売。
灯りと共に温かい美肌の湯もぜひお楽しみ下さい。

あったか入浴割引券 [1枚/100円]

[販売場所] 観光案内所(バスセンター)、嬉野交流センター

- 土・日曜及び清掃、混雑時は入浴をお断りする場合がございます
- タオルはご持参下さい。
施設によっては有料貸出のところもございます。
- 貸切風呂・家族風呂は除きます。
- 1枚につき1名様利用可能

※全ての売上はお祭り協力金として
今後のまつりをより良くする為に使用させて頂きます。



名物、温泉湯どうふや市民手作りによるぜんざいの販売。嬉野茶とお菓子が楽しめる百円茶屋、協賛飲食店による期間限定メニューなど様々な嬉野の食をお楽しみ頂けます